

【受講者の一言感想】編 紹介 (当日回収分のみ)

第2回 テーマ:「お薬の発明と次世代医療への挑戦」

講師: 長浜バイオ大学教授 長谷川 慎 先生



- 長谷川先生の講義は、テンポもよく、とてもわかりやすかったです。資料のレジメもカラーでとてもわかりやすく、今までで一番よかったです。(昨年より受講)。抗生物質の使いすぎ…とか、自分たちの生活で気をつけたいこともよくわかり、家族を含め、注意していきたいと思いました。創薬のご苦労なども、初めて知ることが出来ました。皆様の地道な研究があつてのことだなあとありがたく感じました。ありがとうございました。(女性 55 歳)
- 大学でどんなことを学んでいるのか、、、など、興味があり参加しました。帰ってから子どもと(普段、会話はあまりないのですが)一緒に話しをする時間をもてました。奥深い研究をしているんだと感心しました。今回、研究室の写真とか見て、新たな会話につなげたいと思います。テンポ良く話して下さい、とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。(女性 47 歳)
- DNAに反応する薬剤を作った人達はナント頭がいいことかと思いました。プレジジョン・メディシン(精密医療)のお話も、ITの発達がここでも多大に貢献していることがわかりました。創薬の話など、今日は全部、興味の尽きない話ばかりでした。ありがとうございました。最後の研究室紹介もとてもよかったです。バイオカフェのお話もとてもためになりました。(女性 69 歳)
- 薬の起源、しくみ等の詳しい講義を聞き、良く解りました。17 世紀の治療を受けなくて幸いです。でも現代は薬が多すぎる様な気がする。抗がん剤の開発と再生医療に期待したい。良く効く抗生物質が開発されても、耐性菌が出るのは解決できないのは残念である。(男性 72 歳)
- 今年からの受講です。むつかしそうなレジュメが、とてもわかりやすく頭に入ってきます。薬の歴史は長寿の元ですね。(女性 80 歳)
- 読みたかった一冊の本を今、読み上げたという感動です。ありがとうございました。残り少ない命ですが、自分の体と一緒に、前へと、意欲が湧き上がって来ました。(男性 87 歳)
- 受講が複数年になりますが、少しずつ理解できるようになったような気がします。(女性 62 歳)
- ためになるお話、ありがとうございました。ただ、化学式は、やはりむずかしい。イメージがつかみにくい。(男性 67 歳)
- 本当にむつかしかった。でも先生がとてもおもしろかった。(女性 67 歳)
- 講義資料に表示されていた区分の内、サラリーマン時代及びその後の 15 年間の自営業は、すべて物理系の仕事でした。昨年 5 月に廃業した時に、今までと違った分野の事を知りたいと思い、バイオを選考しました。従ってすべてが新鮮であり、一方では聞き慣れた薬品名が出てきて、薄い表面だけですが、親近感をもって講義を受けられました。今後もよろしくお願いします。(男性 76 歳)
- 薬の起源と化学の起源がおおまかに分かりました。でもとても難しいです。(男性 69 歳)
- 学生時代、物理部にいたので数式など懐かしく楽しく学ばせていただきました。長谷川教授の講義

は、難しいお話でしたがとても興味深い話題で真剣に学びとても良い勉強になりました。ありがとうございました。(女性 78 歳)

- 本日、午前中に人生初の胃カメラをしてきました。“胃がん”かも、と心配しましたが、ただの胃炎でした。ただ本日の講義で抗がん剤の話しが、まさにタイムリーで興味深く聞けました。(女性 51 歳)
- 楽しくきかせて頂きました。化学式が出てきてこれらの見方ができればもっと良いのにと思いました。時間があれば勉強したいと思いました。i p s のことを教えて頂けてよかったです。長浜バイオ大学の研究室も見学させて頂きたいです。よろしくお願い致します。(女性 56 歳)
- 大変わかりやすかったです。・昔の薬が現在も使われているのはすごいなあと思った。・新薬がどんどん開発されて、困っている人が助けられればいいなと思います。(女性 55 歳)
息子が創薬の研究職に就きたいと言っている。大学院に行って非常に厳しい道なのがかわかっていのだろうか？もう学部のどの教授の元の研究室に入りたいと希望はあるらしい。息子の人生だから、そっと見守ってやりたいが、、、TOEIC だけは、しっかりやっておけと言っています。(男性 59 歳)
- 薬の歴史がよ〜く分かってよかったです。ペニシリンから抗がん剤、はたまた i p s 細胞の最先端まで講義していただき、刺激になって有意義でした。(女性 68 歳)
- 大変興味深く、一度に多くの事項が入り、頭の中がいっぱいで、整理が出来ない状況です。プレシジョン・メディシン(精密医療)と A I (人工知能)の利用は今後の期待が大きくなると思いました。(男性 68 歳)
- 前半は少々退屈。後半、抗がん剤、再生医療については、非常に興味深く聴けました。(男性 62 歳)
- 楽しい時間でした。がんは、高齢になって、他の病気では死ななくなった、最後にたどり着いた病気と、改めてわかりました。今後の薬の開発に期待します。(女性 67 歳)
- 医療の進み方がわかって良かったです。i p s 細胞を利用して治療が進んでいると思っていましたが、現状がわかって少しガッカリしました。すぐにでも病気が治るのではと思っていましたので。(女性 66 歳)
- 限られた時間の中で総括的かつ先進的な内容にも及びよかったです。(男性 68 歳)
- 医薬、薬への考え方などが学べて良かった。とても楽しい講義でした。(女性 69 歳)
- わかりやすい説明で、とても楽しかったです。また、資料もカラーでとても良かったです。参考にします。余談で、チャールズ 2 世の治療の一部に、熱した鉄棒でのどをつくにはびっくりしました。死にたくなる位の治療でしょうね。こわい!!! (女性 70 歳)
- 薬の発達史が良くわかった。(不明)
- 身近な言葉がポンポン出てきて、興味深かったです。(女性 72 歳)
- 人類の生命と薬の進歩の内容が手にとるように分かりました。i p s 細胞の事の内容も分かりましたので、今後も注視していきたいと思えます。(男性 53 歳)
- 本年度 3 年目の受講になりますが、やはり講義内容はわかりにくいです。(男性 63 歳)
- 息子が 4 月より大学でお世話になっております。私自身、医療従事者でもあり、とても興味深く拝聴させていただきました。身近にも癌で亡くなったり、現在治療中の者もいます。息子にも将来何らかの形で医療に係わる人材になってもらえれば…と思えます。(女性 47 歳)
- 最先端のガン治療薬、i p s 細胞の解説が非常に懇切丁寧で、興味深かったです。(男性 82 歳)
- けっこうむずかしい内容でしたが、興味のある内容でした。ありがとうございました。息子が今年からバイオ大学に入学し毎日楽しんで通っています。未来が楽しみです。(女性 44 歳)

- 楽しく聞かせてもらいました。薬の開発の進歩のすごさに感動しました。(男性 54 歳)
- 身近な人がガンで死亡されることが多くなってきている中、本日の講義は、大変わかりやすく良かったです。近年発売されたオプジーボは、各ガンに適用が広がり、使える患者の増えることを切望する。(男性 74 歳)
- 予習なしでは、たぶん、充分に理解は無理な内容と速さだと思います。熱意は伝わりましたが、もう少し内容を整理してお話いただいたほうがありがたいです。私もよくやってしまうのですが、「もりだくさん」は、聞く方には負担になります。私は面白かったです。感謝！！(男性 63 歳)
- プリントの字が大きくて、カラーで見やすい。老眼にはありがたいです。今日は子どもがどんな事を勉強しているのか知りたくてきました。(女性 58 歳)
- この 100 年でのお薬、医薬の進化がすばらしくてこれからは楽しみです。いっぱいの内容でついていくのがやっとでしたけど、ありがとうございました。(女性 66 歳)
- 薬のことを一から聞いて充実感があります。ありがとうございました。(女性 61 歳)
- 「薬」というものの成り立ちから、最新のお話まで薬の歴史。という感じでよくわかるお話でした。抗がん剤のしくみについて、もう少し詳しくお聞きしたかったです。おすすめの書籍、2冊とも読んでみようと思います。研究室・見学、できればいいなあと期待しています。ありがとうございました。(女性 58 歳)
- 断片的に知っていることを流れとして整然と教えて頂き、資料があり、目に見えて分かりやすかった。楽しい講義でした。(女性 77 歳)
- 息子が長浜バイオ大学でバイオについて学んでおり、文系人間の母としても、少しは息子の興味あるバイオについて理解を深められたら良いなあと思い参加させて頂きました。その息子が小学生の頃から、総合病院で勤務しており、今回のテーマは私自身にとっては、より身近なものに感じました。抗がん剤のお話は、なかなか興味深いもので普段耳にする、目にするお薬の名前などもあり、どのように作用するのか説明して頂いて理解を深めることができました！ プレシジョン・メディシンの考え方、再生医療技術による薬剤開発の変化など近未来の医療についても色々勉強になるお話を聞いて大変有意義でした。i p s 細胞については、まさに息子の興味の分野でもあり長谷川先生の判りやすい説明に感嘆いたしました。ありがとうございました。(女性 56 歳)
- 医学の歴史の話しが面白かったです。＜人間が生きる＞歴史は、“禍福はあざなえる縄のごとし”という通りだなと思いました。今のくらしの中でも、いろんなことがあります。何千年続く歴史にふれることで、何となくホッと一息つけるんだなあと思いました。特に難病のことを考えると、いつかきっと治療方法が確立されるだろうなあとなぐさめられます。せっかくのいいお話、もう少しスローテンポであれば…。声の大きさは、難聴気味になってきた私にはとても有難いです。(女性 68 歳)

◎バイオカフェ：ひとこと聞きたい・話したいカードの記入分 ご紹介【参考】

- ・ ・ ・ 回収分の一部です。直接きかれたことなど他にもありますが省略します。
 <先生の回答は、カフェの中で自由楽しく展開されましたが内容は省力です。>
- 私の父は、明治 27 年生まれ。戦前、大阪薬学専門学校卒で薬剤師でしたが、戦後専門学校が大学に昇格し、阪大阪大薬学部卒になりました。65 歳にガンで他界。薬学については、すごく興味があり、少し DNA を受けたのかな？

私には、薬学部は無理でした。なんだか父に会えたような気がします。父はどんな勉強していたのかなあ。私は80歳です。来世は、バイオ大に入るぞ！！

アツという間に過ぎました。楽しかったです。

- 難病指定されている病気がたくさんありますが、その治療薬や特効薬は、将来、開発される可能性はあるということですね！？（女性61歳）
- バイオカフェ…参加したいのですが、病院の予約がありますのでお先に失礼させていただきます。（男性87歳）
- これからの平均寿命はどれくらいまで延びていけそうでしょうか…？
- ガンにならないようにするには？
- 風邪をひくと白血球が増えるのは分かりますが細胞自体は変化をおこすのでしょうか？又、抗生物質を飲み続けるとカビると聞いたことがありますか？
- 長谷川先生の研究でヘリコバクター・ピロリの検出試薬やインフルエンザウイルスの検出方法などを開発されておられますが、そのしくみを私達にわかる範囲で教えてください。
- かぜ薬等、一般の薬局で購入する薬と医者の方箋での薬との差は？
- バイオ大学生が製薬メーカーで研究職に就くには、どこの大学院へ進学するのがよいか？ 3つくらいご教授下さい。
- 先日キューバを訪問したが、経済封鎖のため薬剤が不足していたため独自に開発した薬が多いと聞いているが、キューバ独自で日本や欧米に出回っていない薬もあるのか？
- CとかHとかOの分子構造はどうして識別されるのでしょうか？
- 今回は初めて出席させていただきました、…、バイオというイメージとはちょっと違うなあという感じがしました。それほどにバイオとはイメージが漠然としたのだなあと私にとっては思えました。
- 物理系で経過してきましたので、バイオは全て異次元の世界であり、全て新鮮さをもって聞かせてもらっています。

■■ 「バイオの世界」担当者から皆さまへ ■■

第2回も最後まで熱心に聴講していただきありがとうございます。また、感想とともにバイオカフェへの質問等も多くいただき、これもナルホドと思うのがたくさんあり紹介したかったのですが、手元にある一部だけ掲載させていただきました。■今年は人数が多く自己紹介の時間がとれていませんが、感想文で受講者の熱意等が紹介されている感じがします。年齢は様々ですが、みなステキなバイオ仲間というのがよく分かります。■さて、本日の講師は、女性の岩本先生です。私たちの細胞の中での不思議なお話、楽しみです。また次回は、大島敦先生が再登場で「無生物にも遺伝子検査！？これぞ究極の真贋判定！」でこれも面白そうですね。

■また、今回は、9月の楽しいバイオ実験講座に向けて、「班分けの調査アンケート」を取ります。大事な調査ですのでよろしくご協力の程、お願いします。（事務局バイオ担当：鈴木信夫）

